

～図書館だより～

R 8 年 9 月

木下柊先生のお薦め本

『スミルノ博士の日記』

サミュエル・アウグスト・ドゥーセ著 宇野利泰訳

この作品は、100 年以上前に発行された *Doktor Smirnos Dagbok* という長篇ミステリ（推理小説）が原本になっています。一部のミステリ界隈では、この作品が「とある理由」でよく知られています。日本語版は長らく絶版となっていました。2024年7月に復刊されています。

【あらすじ】 法医学者のスミルノはある晩、女優の殺害事件に遭遇します。この事件の容疑者として浮上したのは、スミルノの元恋人であるスティナでした。スティナを救いたいスミルノは、名探偵カリングの手を借りて不可解な謎に挑みます。

【おすすめポイント】

出版当時の読者の度肝を抜く仕掛けが、私のおすすめポイントです。「とある理由」はこの仕掛けがかかわっているのですが、それを知ってしまうと面白さが激減するので、ぜひ何も知らない状態で読んでみてください！



～読書の秋です！～

朝8時からオープン！

涼しい図書館で、ゆっくり読書を・・・

 新着図書のおすすめ本 

今年度直木賞受賞作

『けんぐわい』 朝倉かすみ

今年度芥川賞受賞作

『ゾンビ回収婦』 小砂川チト

 図書館のおすすめ本 

『おおきく振りかぶって』

スポーツの秋！ということで。野球マンガの歴史を変えたといわれ、アニメにもなりました。

「無名の野球部が甲子園をめざす」というよくあるストーリーですが、気弱な主人公がどんどん成長していく、野球の勉強にもなるスポーツマンガです。欠けた巻がありましたが、ようやく最新刊まで全巻そろいました。